

受精卵移植におけるカラードプラの有効活用法の提案

【背景と目的】

輸入飼料価格高騰や子牛市場取引価格の暴落などにより都内酪農家の多くが経営状況の悪化に陥っている。受精卵移植 (ET) 技術を活用し市場価値の高い子牛を生産・出荷し、経営改善に取り組んでいるが、都内では ET の受胎率が低く苦慮している。ET 受胎率の向上のため、超音波診断装置のカラードプラ機能を活用した受卵牛の選抜や早期妊娠鑑定方法を確立する。

【研究概要】

(1) 黄体機能と ET 受胎率との関係性の検証

カラードプラを利用した ET 実施時の黄体機能評価と受胎率の調査。

(2) 早期妊娠鑑定および黄体ホルモン製剤投与による受胎率向上の検証

ET 実施後 14 日目の黄体機能評価を行い、早期妊娠鑑定の可能性検証。

黄体ホルモン製剤の投与による受胎率向上効果の検証。

(3) 画像解析を利用した黄体機能評価

上記の結果と卵巣所見を取りまとめ、画像解析を実施。繁殖検診時の受卵牛の選抜診断について可能性を検証。